

# 大分寺婦

第 19 号

発行

大分教区  
寺族婦人会連盟

〒874-0920  
別府市北浜3丁目6-36  
本願寺別府別院内  
TEL0977-22-0146

## 小悲小慈もなき身にて

大分教区寺婦連盟委員長 **伊藤 関子**

初春のおよろこび

申し上げます



今年もお念仏の中に新しい年を迎えることが出来、共々慶ばせて

いただきましたと思います。

昨年の六月には、四年に一度の大分教区寺族婦人会の研修旅行が実施され、築地本願寺と親鸞聖人関東ご旧跡を巡拝することが出来ました。お陰さまで沢山の方々のご参加を頂き、改めて私自信もこの旅行で、親鸞聖人というお方が益々身近に感じられ、感慨一入で大変有意義な研修旅行となりました。有り難うございました。

さて、この冬はまれにみる厳しい寒さと豪雪に見舞われ、各地で沢山の犠牲者が出ています。そのニュースを見聞きする度に、お気の毒で何とかしてあげられたらと、心が痛みます。しかし結局、私たちは自然に対して驚異の念を持ち人間の無力さを知らされるだけです。

相田みつをさんは「人の為」と書く「偽」という字になるよと言っておられます。

聖人のご和讃に

小慈小悲もなき身にて

有情の利益はおもふまじ

如来の願船いまさずは

苦海をいかでかわたるべき

私たちがいかに、ものに同情し哀れみをかけて何とかしたいという思いはあっても、何一つすえとおったことは出来ないよ、お念仏に出遇いお念仏を申し、早く仏に

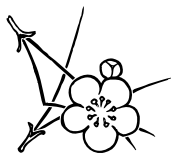
なつて・・・とおっしゃって下さっております。私たち凡夫の姿をしっかりと見据えて下さっております。

二月の第二日曜は「ダーナの日」です。私のこの小さな器のなかで、私が出る精一杯の小さなお布施を、気負わずいつもいつも心がけていこうと思っております。

「にっこり笑って、南無阿弥陀仏」を今年一年、私の努力目標として精進していきたいと思えます。

会員のみなさまには、お身体ご自愛下さり、ご報謝の日暮らしをなされますよう、念じ上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

合掌



## 寺婦連盟研修総会

四月二十六日、少し汗ばむ陽気の中、「大分教区寺婦連盟総会」が七十四名の出席者で行われました。

### △開会式▽

勤行「讃仏偈」で始まり、教務所長さん、寺婦連盟委員長さんの挨拶で開会しました。前年度の報告を新役員がするのはおかしいのではないかとということもあり、前役員さんたちによる司会で総会に入り、昨年度の決算報告と本年度の活動計画、並びに予算案が出され可決されました。

前委員長の巖 幾代さんの挨拶の中で本山で全国寺族女性の代表者の会に参加された時、各教区の話しがあり二ヶ月に一度は教区で勉強している。関西地区五教区で大会をしていると沢山の意見を聞き学ばなければ勿体ない。人生一

生勉強である、とのお話に私たちも頑張らなければと思いました。

### △講話▽

講師は本願寺派布教使 大海組 光国寺 稲田静真先生でした。

「よりそうー大悲ー」という題でお話いただきました。ある人がお産をして残念ながら死産だった。

一週間子供もいないのに入院しなければならぬ気持ち、その時父に「可哀想なことをしたな」と言われた。その言葉に私と同じ思いをしている人と知り嬉しくなった。

同じ気持ちに立って人と共感すること、子供を「教育」することではなく「共育」ではないだろうか。浄土真宗では本願の宗教、根本のお慈悲つまり阿弥陀様の大悲の願い、仏様の方からの願いによって生かされている、私は一人だと思っていたけれどいつも阿弥陀様がいてくれたので一人ではないとお話を聞き、人間として坊守として一

番阿弥陀様の近いところにいたけれども、本当は遠い所にいたような気がしました。



研修総会風景 (別府別院)

### 寺婦研修旅行

## 関東ご旧跡巡り

六月六日(月)～八日(水)まで、四年に一度の研修旅行が実施された。今回は、関東ご旧跡巡りである。六日、最初に行ったのは本願寺築地別院、参拝後、昼食(フ

ランス料理)。

午後、バスにて枕石寺(聖人一夜の宿…)続いて河和田の報佛寺(唯円様を開基)へ参拝。初日は二ヶ寺を訪れる。ホテルは大洗パークホテル。夕食を楽しみ、ゆつくり過ごす。

七日、早朝より栃木県高田の修寺へ重要文化財が点々と…。

次は茨城県に入り、大覚寺へ(聖人法難の遺跡板敷山の弁円懺悔の本像)。

稲田の西念寺(別格本山)みかえり橋まで皆さん歩いて行った。ご旧跡の参拝はすべて終え、東京へまた戻る。夕方ホテルニューオオタニに着く。ちよつとりツチな気分だ。

八日、朝から東京見物、皇居に行き、都庁を見学、浅草をぶらぶらして、川下り。行った先はお台場、フジテレビ周辺を見学し、三日間の旅は終わった。

(写真は四面に掲載しています)

# アイデアコーナー

ちょっといい話



お婆さんの知恵袋ちょっとしたヒントになると思います。

しいたけ



しいたけのじくは、笠より味もよく、繊維を切る様に横に薄く切れば、やわらかく年寄りでも食べられます。だしにしたり、みそ汁に入れたり、ちらしの具にもなります。

おから



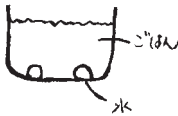
おからが余った時、サラダにすると、又目先が変わっていいですよ。キュウリ、人参を薄切にし、塩でもんでおからに入れ、マヨネーズを加え、レタスで巻いて食べます。(子供もよろこんで食べます)

チカマワポコ



残ったら薄切にして、皿にラップを敷き、重ならない様に並べます。凍らせた後、袋に入れて、冷凍保存します。みそ汁の具にしたり、細切にして、野菜いためなど、使い方はいろいろです。

ごはん



保温すると、ご飯が黄色くなったり、硬くなったりしませんか。冷凍室の氷を、おかまの底につく様に入れると、ふっくらと炊いたままの状態でおいしく食べられます。(5合に2個位入ると良い)  
☆お仏飯の残り：梅干しをいれておかゆにします。又は、干して炒って、シロップを作り、まぶした後、うすくのぼして、適当に切ります。

ゆず



皮は千切にしてはちみつにつけます。わたしは砂糖を入れて煮つめます。どちらも湯を入れて、飲むと体があたたまりますよ。これからの季節風邪の予防になります。  
種と皮は、日本酒又は焼酎につけます(60日位)これは何と化粧水になります。これにドクダミとアロエを焼酎につけたもの(60日位)を加えると(割合は1:1)ますます美人になりますよ。

アロエダミ



ドクダミとアロエを焼酎につけたものは、虫さされ、草まけなどがゆみを止めるのに良くききます。

ブロッコリー



ブロッコリーの莖をすてていませんか。皮ごと縦に千切にして、キンピラにするとおいしいですよ。莖の方が栄養があるそうです。

「もったいない」という言葉が見直されてきた今日、何か参考になる事がありましたか。一度お試しあれ。



関東ご旧跡巡り - 専修寺 -

おくやみ

平成十七年は左記の方がご逝去されました。

- 稲田 實 苗(79歳)  
大海組 光国寺 前坊守  
平成十七年一月二十九日
- 安部 頼 耶(84歳)  
由布院組 元勝寺 前坊守  
平成十七年二月十日

- 松田 ツユ子(90歳)  
中津組 徳勝寺 前々坊守  
平成十七年二月十二日
- 藤原 ケイ子(76歳)  
国東中組 川原寺 前坊守  
平成十七年二月二十一日
- 佐藤 アヤ(97歳)  
耶馬溪組 教円寺 前坊守  
平成十七年二月二十二日
- 佐々木 三 昧(98歳)  
日田組 正専寺 前坊守  
平成十七年二月二十三日
- 東陽 此 枝(90歳)  
宇佐組 西光寺 前々坊守  
平成十七年三月十五日
- 内藤 宮 子(100歳)  
下毛中組 法行寺 前坊守  
平成十七年四月二十一日
- 高尾 昌 子(69歳)  
日田組 東光寺 坊守  
平成十七年五月十三日
- 矢幡 鈴 子(97歳)  
耶馬溪組 圓照寺 前々坊守  
平成十七年九月五日
- 臼 杵 岸 子(70歳)  
津房組 西福寺 前坊守  
平成十七年十月七日
- 撰受 文 江(96歳)

- 中津組 光榮寺 前坊守  
平成十七年十月八日
- 片山 レン(91歳)  
国東中組 三光寺 前坊守  
平成十七年十月十七日
- 岩 男 久 子(87歳)  
宇佐組 順照寺 前坊守  
平成十七年十月十八日
- 藤岡 マチエ(88歳)  
大野組 成俊寺 前坊守  
平成十七年十月二十八日
- 梅谷 宣 子(73歳)  
院内組 西寶寺 前坊守  
平成十七年十一月二十五日
- 永光 敏 子(87歳)  
宇佐組 永光寺 坊守  
平成十八年一月十一日

あしがき

この渴ききった世の中、寺族婦人の私達、一人一人が一滴のしずくとなり、その思いが、これから育っていく子供達の、ほっとできる、砂漠の小さなオアシスとなつて、いつの日か緑豊かな、大きなオアシスとなり、世界の平和につ

ながればと願っています。

(M・T)

今回は時間がなく、切羽詰まった状況にもかかわらず、女四人集まればあーでもない、こーでもないという話に花が咲きました。今は大分寺婦ができホツとしています。次回は余裕を持って作業したいです。すねえー。

(Y・T)

子どもの頃に見た風景、三十七センチ程の短い杖をついて、山門から入ってくる腰の曲がったおばあちゃん。本堂で、火鉢にあたる門徒さんたち。手書きのお経本。堂内に響き渡るお正信偈。おばあちゃん達から貰うお菓子がうれしかったものです。

(M・K)

この度大分寺婦の編集委員になり、一回配布するためには、指導員の方々のご苦労と皆様の協力をくしては出来ません。今までお世話して下さいました。私も参加して、大変さの中にも他の組の方との出会いで、いろんな事を教わり感謝しております。

(M・O)